

2022年 注文住宅動向・トレンド調査 ～建築費・土地代が全国的に上昇。 検討者のうち約9割は建築費高騰の認識あり～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の住まい領域の調査研究機関であるSUUMOリサーチセンターは、すべての人の自分らしい人生を応援するため「住まいの価値」を提言・実証する研究を進めております。このたび、注文住宅の建築者・検討者を対象に調査を行いました。2022年の調査結果の一部を抜粋してご報告申し上げます。

注文住宅の建築費・土地代ともに全国的に上昇し、直近7年の中で最高値に。それに伴い世帯主の年齢・世帯年収の平均値も上昇（建築者）

- 建築者（全国）の建築費用（土地代を除く）は平均3,153万円。前年より165万円増加し、直近7年の中で最高値に。（P6）
- 建築者（全国／新規土地取得者）の土地代は平均1,971万円。前年より293万円増加し、直近7年の中で最高値に。（P7）
- 建築者（全国）の家づくりの頭金は平均714万円。前年より120万円増加。（P8）
- 建築者（全国）の世帯主年齢は平均38.8歳と前年より1.3歳上昇。世帯年収は平均848万円と前年より52万円増加。（P9）
- 建築者（全国）のうち、注文住宅以外の種別を検討しなかったのは38.6%。前年より5.1ポイント増加。（P10）
- 建築時の土地の有無について、建築者で「土地あり」であった人は、全国で29.0%（前年比3.8ポイント増）、首都圏で30.5%（前年比7.1ポイント増）。（P12）
- 建築時の重視項目として、建築者（全国）では一昨年と比べて「設計の自由度が高いこと」を重視した人が7.2ポイント、「蓄電池を搭載すること」が4.7ポイント、「メンテナンスコストが低いこと」が3.7ポイント増加。（P13）
- 建築者（全国）のうち、建築費高騰を認識していたのは75.1%、建築費高騰の影響があったのは41.6%。（P15）

検討者のうち約9割は建築費高騰を認識。認識者のうち、建築時期の変更なしが約7割と多数派（検討者）

- 検討者（全国）のうち89.7%は建築費高騰を認識している。高騰を認識している人のうち62.3%は今後も現在より建築費が上がっていくと予想。（P15）
- 検討者（全国／建築費高騰の認識あり回答者）のうち68.2%は、建築費高騰による建築時期への影響について「時期に変更はない（変更しなかった）」と回答。（P16）
- 建築費高騰で予算をオーバーした場合の対応は、検討者（全国／建築費高騰の認識あり回答者）のうち39.4%が「予算を増やす」、27.4%が「土地費用を抑える」、10.2%が「建築費を抑える」、21.3%が「両方抑える」と回答。（P16）
- 土地費用の抑え方は、「土地面積を狭くする」「坪単価が低いエリアを選ぶ」がともに5割程度。（P16）
- 建築費用の抑え方は、「設備・仕様を安くすむものにする」が62.0%、「延床面積を抑える」が47.0%。（P16）

ZEH認知率が増加し、直近5年の中で最高値に。2030年度ZEH基準義務化の認知率は建築者で3割強、検討者で約5割（建築者／検討者）

- 建築者（全国）のZEH認知率は77.4%。前年より4.5ポイント増加。（P17）
- ZEH認知者のうち、ZEHを導入した人は25.3%で前年からほぼ変化なし。（P17）
- ZEH導入による光熱費等の経済的メリットは、平均で8,562円/月。（P17）
- 2030年度ZEH基準義務化の認知率は、建築者（全国）で34.1%、検討者（全国）で50.2%。（P18）

※ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは「外壁や窓など外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がおおむねゼロとすることを旨とした住宅」です。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

SUUMO副編集長による解説

注文住宅の建築費・土地費用ともに直近7年の中で最高値を記録し、注文住宅取得のコストアップが顕著に表れました。この背景には、コロナ禍での需要により、新築分譲一戸建ての販売が好調なことで、土地の争奪戦が起こっていることが挙げられます。そのコストアップと比例するように、建築者の頭金・世帯年収・建築者の年齢の上昇が見られました。

一方、注文住宅以外の並行検討種別は減少していることなどから、注文住宅を建てた方は、「高くても注文住宅に価値を感じている人」であると考えられます。また、重視項目ではメンテナンスコストの安さを重視する方が年々増加しており、ZEHの認知も進んでいく中で、今後は初期コストだけではなく、ランニングコストに、より目が向けられていくことが予想されます。

昨今の建築費高騰は、検討者の約9割が認知しており、今後さらに上がる、もしくはこの水準が続くと考えている検討者が多くを占めました。しかし、建築時期の変更はしない方が約7割。また、予算をオーバーした際の行動としては、予算内で調整をされる方が約6割と多い一方で、「予算を増やす」が約4割おられ、建築時期も建築プランも変更しない方が一定数いると考えられます。

最後に着目したい調査結果として、ZEH認知率が直近5年の中で最高値となり、4人に3人が認知する存在になりました。ZEHの2030年の義務化についても、検討者の認知率が5割を超え、政府が省エネ推進に向けて住宅の省エネ基準の適合義務化を進める中で消費者の関心が高まっている様子が見られました。ハウスメーカー大手各社も、ZEH商品の強化を図っておりますし、実際のZEH導入による光熱費などの経済的メリットは、平均で8,562円/月という結果もでており、経済的メリットの大きさからも今後も導入率は伸びていくのではないかと見立てています。



SUUMO副編集長
中谷 明日香

SUUMOリサーチセンターについて

SUUMOリサーチセンターは、SUUMOの調査研究機関として、住まいや暮らしについての調査、住まいの品質向上に向けた実証実験、テクノロジーの実態調査を行っています。業界に向けた提言や生活者に向けた発信によって、住まいの価値を高め、一人ひとりにその価値が届くまでの伴走・支援をしています。リクルート住宅総研としての創立以来、約20年にわたって培ってきた住まいの検討者と不動産事業者に関する深い現場知見と『SUUMO』という国内最大級メディア運営に基づくデータに依拠した、実現できる未来を発信していきます。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

- 調査目的 注文住宅の建築者／検討者（建築予定者）の意識や行動の把握
- 調査対象 下記条件を満たすマクロミルモニターの男女個人
 【建築者】 1年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）を建築（竣工ベース）した人
 【検討者】 今後2年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の建築を検討している人
 ＊上記いずれも本人または家族が下記職業の人を除外
 住宅メーカーまたは販売、不動産・建設関連、広告代理店・市場調査関連
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 調査時期 スクリーニング調査 : 2022年7月29日（金）～8月8日（月）
 本調査 : 2022年7月29日（金）～8月8日（月）
- スクリーニング調査対象 296,340サンプル
- 本調査有効回答数 【建築者】 1,856サンプル（全国） 【検討者】 1,847サンプル（全国）
- 調査実施機関 株式会社マクロミル

「調査結果を見る際の注意点」

- * %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値が「全体合計（100%）」や「小計」と一致しない場合がある
- * 数値自由回答は異常値（外れ値）回答者を除外して集計しているため、基数（n）が他の設問と異なる場合がある

「有効回収サンプル数とウェイトバック集計」

- * 2017年のリリース発表より、過去調査分も含め回収サンプルの偏りを、実際の建築者・検討者の地域別出現率に合わせる補正（ウェイトバック集計）を行った
- 2018年、【検討者】のデータに関し、注文住宅検討者の地域別出現率に合わせる補正（ウェイトバック集計）の方法について方針を変更した。そのため、2017年以前のリリース発表と数値が若干異なる場合がある
- * 本年（2022年）の有効回収サンプル数とウェイトバック後の集計サンプル数は以下のとおり
 （ウェイトバック集計の詳細は次ページ参照）

■有効回収サンプル数 (人)

		地域		
		首都圏	その他	計
種別	建築者	403	1,453	1,856
	検討者	545	1,302	1,847

→

■ウェイトバック後の集計サンプル数 (人)

		地域		
		首都圏	その他	計
種別	建築者	375	1,481	1,856
	検討者	509	1,338	1,847

[首都圏] 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県

[その他] 上記首都圏以外の43道府県

ウエイトバック集計について

■ ウエイトバック集計の目的

回収サンプルの偏りを、実際の建築者・検討者の地域別出現率に合わせることを目的とし、ウエイトバック集計を行った。

注文住宅動向調査の集計・分析のために、注文住宅建築者と注文住宅検討者それぞれについて、令和2年国勢調査から得られた人口と本件のスクリーニング調査から得られた注文住宅建築率と注文住宅検討率とを掛け合わせて、エリア（8区分）ごとの構成比を推計し、集計サンプルの構成比を一致させた。

■ 使用するデータソース

令和2年国勢調査

平成28年から令和4年（2016年～2022年）実施の
注文住宅動向調査のスクリーニング調査結果と本調査結果

■ エリア区分

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| 1.北海道・東北地方 | 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 |
| 2.北関東地方 | 茨城県 栃木県 群馬県 |
| 3.首都圏 | 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 |
| 4.北陸・甲信越地方 | 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 |
| 5.東海地方 | 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 |
| 6.近畿地方 | 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 |
| 7.中国・四国地方 | 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 |
| 8.九州・沖縄地方 | 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県 |

■ エリアごとの人口（令和2年国勢調査より）

<エリア>	<人口>	<構成比>	
1.北海道・東北地方	8,196,892	10.9%	※20歳以上～69歳以下の人口
2.北関東地方	4,024,551	5.3%	※本調査では、70歳以上のサンプルも回答しているが、人口構成のバランスを考慮し69歳以下とする
3.首都圏	23,082,382	30.6%	※年齢の1歳ずらしの対応は行わず、国勢調査の間隔と同様に5年間程度継続する
4.北陸・甲信越地方	4,621,125	6.1%	
5.東海地方	8,895,775	11.8%	
6.近畿地方	12,102,735	16.1%	
7.中国・四国地方	6,217,462	8.2%	
8.九州・沖縄地方	8,239,670	10.9%	
合計	75,380,592	100.0%	

■ WB値一覧

	2022年WB値		2021年WB値		2020年WB値		2019年WB値	
	注文住宅建築者	注文住宅検討者	注文住宅建築者	注文住宅検討者	注文住宅建築者	注文住宅検討者	注文住宅建築者	注文住宅検討者
北海道・東北地方	1.1234057158	1.0854167048	1.1267099581	1.159553239	1.0608315686	1.1435586857	1.0411673297	1.0555317958
北関東地方	1.2408050277	1.3652258661	1.1966115163	1.3479596936	1.1995597129	1.3396950893	1.2682760742	1.1622270218
首都圏	0.9302456458	0.9346505482	0.8809782778	0.8432029551	0.8751564254	0.8651590866	0.8885876602	0.8990666606
北陸・甲信越地方	1.1270433915	1.1507862196	1.1708916499	1.1531521511	1.2614431774	1.2299277736	1.2422149088	1.1364878759
東海地方	0.7943038259	0.8023540837	0.9054537689	0.9226757750	0.9237237889	0.9463288854	0.9270346524	0.9544653045
近畿地方	0.9001311814	0.9124157415	0.8420280029	0.8789694527	0.8247872093	0.8507358811	0.8379573094	0.8464369171
中国・四国地方	1.0185818002	0.9694403474	1.1117958403	1.0872547079	1.0786536720	1.0542689604	1.0582314206	1.0459023036
九州・沖縄地方	1.3186579267	1.3501152441	1.2083070241	1.2590314588	1.2863284600	1.2088583088	1.1792832943	1.2131016325

	2018年WB値		2017年WB値		2016年WB値	
	注文住宅建築者	注文住宅検討者	注文住宅建築者	注文住宅検討者	注文住宅建築者	注文住宅検討者
北海道・東北地方	1.0241421407	1.0755817793	1.0175096521	1.0267083315	1.0813105234	1.0771050817
北関東地方	1.2064715989	1.2019774672	1.2245882099	1.1932141296	1.1213066591	1.2213315538
首都圏	0.8809067940	0.9653117761	0.8808693983	0.8686657316	0.8378855854	0.8396492224
北陸・甲信越地方	1.1880380971	1.1440669100	1.2275863138	1.2084217376	1.2636498386	1.2430333195
東海地方	0.9418002924	0.9157235029	0.9461217596	0.9701744123	1.0110897620	0.9625828676
近畿地方	0.8477836576	0.8475966984	0.8393176908	0.8448219288	0.8043160615	0.8300793183
中国・四国地方	1.0713657885	1.0107501447	1.0674021062	1.0720976090	1.0127236725	1.0348221236
九州・沖縄地方	1.2572083291	1.1165276041	1.2266800424	1.2458359112	1.3692443204	1.2309606586

調査概要（2016-2021年 注文住宅動向・トレンド調査）

■ 調査地域	全国		
■ 調査方法	インターネットリサーチ		
■ 調査時期			
(2021年)	スクリーニング調査	：2021年7月30日（金）～8月11日（水）	
	本調査	：2021年7月30日（金）～8月11日（水）	
(2020年)	スクリーニング調査	：2020年7月31日（金）～8月11日（火）	
	本調査	：2020年7月31日（金）～8月11日（火）	
(2019年)	スクリーニング調査	：2019年7月31日（水）～8月9日（金）	
	本調査	：2019年7月31日（水）～8月9日（金）	
(2018年)	【建築者】スクリーニング調査	：2018年7月24日（火）～8月4日（土）	
	【建築者】本調査	：2018年7月24日（火）～8月4日（土）	
	【検討者】スクリーニング調査	：2018年10月17日（水）～10月30日（火）	
	【検討者】本調査	：2018年10月17日（水）～10月30日（火）	
(2017年)	スクリーニング調査	：2017年9月2日（土）～9月19日（火）	
	本調査	：2017年9月2日（土）～9月19日（火）	
(2016年)	スクリーニング調査	：2016年8月19日（金）～9月26日（月）	
	本調査	：2016年9月3日（土）～9月26日（月）	

■ スクリーニング調査対象・本調査有効回答数

(2020年)	スクリーニング：285,384 サンプル	本調査：3,758サンプル（全国）
(2019年)	スクリーニング：244,336 サンプル	本調査：3,764サンプル（全国）
(2018年)	スクリーニング： 【建築者】257,447 サンプル	【検討者】263,095 サンプル
	本調査： 【建築者】1,845サンプル（全国）	【検討者】1,839サンプル（全国）
(2017年)	スクリーニング：261,421 サンプル	本調査：3,695サンプル（全国）
(2016年)	スクリーニング：405,193 サンプル	本調査：3,351サンプル（全国）

■ 調査実施機関 株式会社マクロミル

※回収後、回答者の居住地により下記のとおり区分し、分析した

[首都圏] 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県

[その他] 左記首都圏以外の43道府県

■ 有効回収サンプル数 (人)

		地域		
		首都圏	その他	計
2021年	建築者	397	1,487	1,884
	検討者	531	1,343	1,874
2020年	建築者	409	1,475	1,884
	検討者	508	1,366	1,874
2019年	建築者	382	1,502	1,884
	検討者	426	1,454	1,880
2018年	建築者	373	1,472	1,845
	検討者	399	1,440	1,839
2017年	建築者	384	1,463	1,847
	検討者	450	1,398	1,848
2016年	建築者	402	1,258	1,660
	検討者	398	1,293	1,691

■ ウェイトバック後の集計サンプル数 (人)

		地域		
		首都圏	その他	計
2021年	建築者	350	1,534	1,884
	検討者	448	1,426	1,874
2020年	建築者	358	1,526	1,884
	検討者	440	1,434	1,874
2019年	建築者	339	1,545	1,884
	検討者	383	1,497	1,880
2018年	建築者	329	1,516	1,845
	検討者	385	1,454	1,839
2017年	建築者	338	1,509	1,847
	検討者	391	1,457	1,848
2016年	建築者	337	1,323	1,660
	検討者	334	1,357	1,691

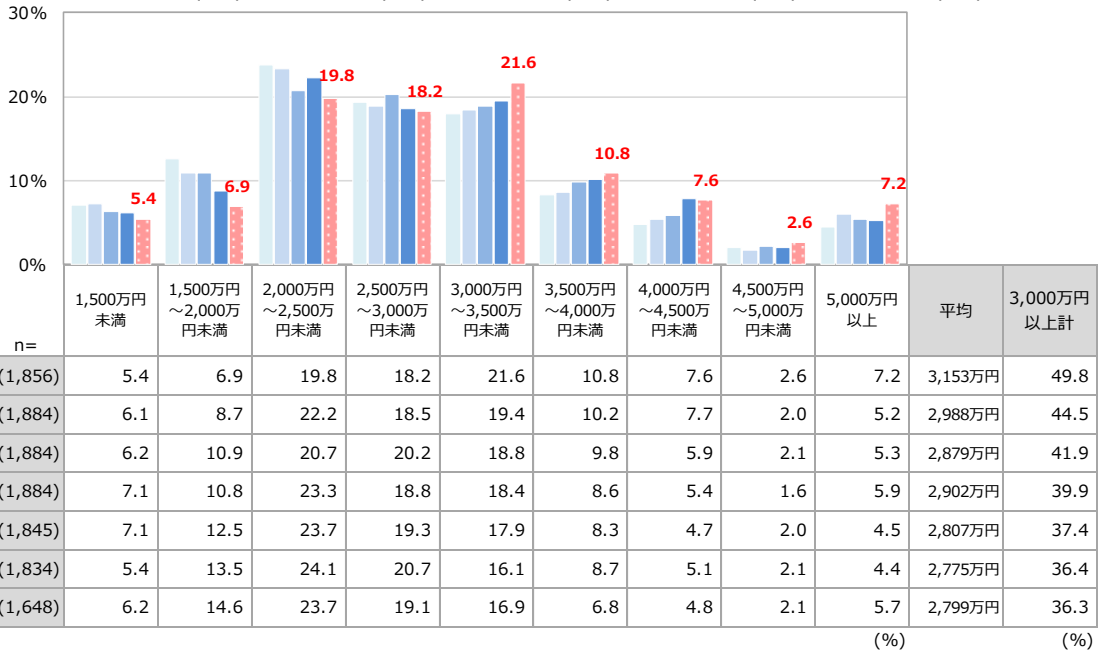
1 家づくりの建築費用（土地代を除く）

- ・ 建築者（全国）の建築費用（土地代を除く）は平均3,153万円。前年より165万円増加。
- ・ 建築者（首都圏）の建築費用（土地代を除く）は平均3,187万円。前年より133万円減少。
- ・ 全国・首都圏いずれも3,000万円以上回答者の割合が増加している。

■ 建築費用（土地代を除く） 建築者（全国／無回答および0円回答者を除く）

【数値自由回答】

■ 2018 建築者（全国） ■ 2019 建築者（全国） ■ 2020 建築者（全国） ■ 2021 建築者（全国） ■ 2022 建築者（全国）



■ 建築費用（土地代を除く） 建築者（首都圏・首都圏以外／無回答および0円回答者を除く）

【数値自由回答】

n=	1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～2,500万円未満	2,500万円～3,000万円未満	3,000万円～3,500万円未満	3,500万円～4,000万円未満	4,000万円～4,500万円未満	4,500万円～5,000万円未満	5,000万円以上	平均	3,000万円以上計	
2022 建築者（首都圏）	(375)	9.4	6.5	19.4	11.9	18.6	8.9	7.9	3.7	13.6	3,187万円	52.9
2021 建築者（首都圏）	(350)	7.8	9.3	19.9	14.1	17.9	9.3	8.6	2.3	10.8	3,320万円	48.9
2020 建築者（首都圏）	(358)	9.0	12.7	20.0	14.4	15.4	8.3	7.8	1.7	10.5	3,065万円	43.8
2019 建築者（首都圏）	(339)	10.7	9.9	22.3	13.1	14.7	8.6	7.6	2.6	10.5	3,034万円	44.0
2018 建築者（首都圏）	(329)	9.9	13.9	18.0	13.9	16.9	7.8	7.0	2.7	9.9	2,984万円	44.2
2017 建築者（首都圏）	(336)	6.3	11.5	21.3	20.5	13.1	7.3	6.6	3.4	10.0	3,164万円	40.4
2016 建築者（首都圏）	(330)	5.6	11.4	20.8	17.8	16.8	9.4	5.8	2.5	9.9	3,181万円	44.4

n=	1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～2,500万円未満	2,500万円～3,000万円未満	3,000万円～3,500万円未満	3,500万円～4,000万円未満	4,000万円～4,500万円未満	4,500万円～5,000万円未満	5,000万円以上	平均	3,000万円以上計	
2022 建築者（首都圏以外）	(1,481)	4.4	7.0	19.9	19.8	22.4	11.3	7.5	2.3	5.5	3,144万円	49.0
2021 建築者（首都圏以外）	(1,534)	5.7	8.5	22.8	19.5	19.8	10.3	7.6	2.0	3.9	2,913万円	43.5
2020 建築者（首都圏以外）	(1,526)	5.6	10.5	20.8	21.6	19.6	10.2	5.4	2.2	4.1	2,836万円	41.5
2019 建築者（首都圏以外）	(1,545)	6.3	11.0	23.5	20.1	19.3	8.6	4.9	1.4	4.9	2,873万円	39.0
2018 建築者（首都圏以外）	(1,516)	6.5	12.2	25.0	20.5	18.1	8.4	4.2	1.9	3.3	2,768万円	35.9
2017 建築者（首都圏以外）	(1,499)	5.1	13.9	24.7	20.8	16.7	9.0	4.8	1.8	3.2	2,688万円	35.5
2016 建築者（首都圏以外）	(1,318)	6.4	15.4	24.4	19.5	16.9	6.2	4.5	2.0	4.7	2,704万円	34.2

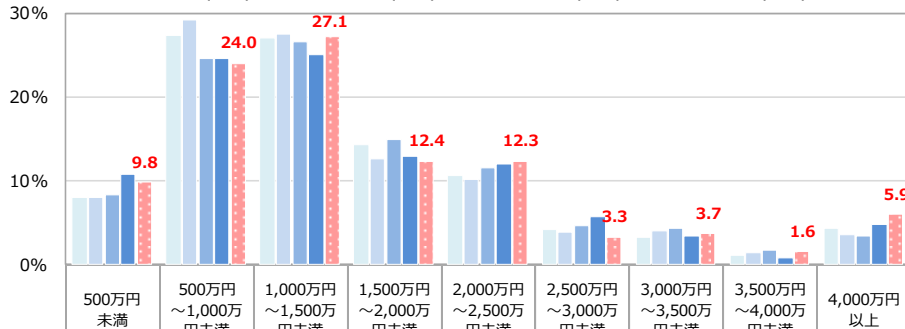
2 土地代

- ・ 建築者（全国／新規土地取得者）の土地代は平均1,971万円。前年より293万円増加。
- ・ 建築者（首都圏／新規土地取得者）の土地代は平均2,793万円。前年より250万円減少。

■ 土地代 建築者（全国／新規土地取得者）

【数値自由回答】

■ 2018 建築者（全国） ■ 2019 建築者（全国） ■ 2020 建築者（全国） ■ 2021 建築者（全国） ■ 2022 建築者（全国）



	n=	500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～2,500万円未満	2,500万円～3,000万円未満	3,000万円～3,500万円未満	3,500万円～4,000万円未満	4,000万円以上	平均	2,000万円以上計
2022 建築者（全国）	(1,305)	9.8	24.0	27.1	12.4	12.3	3.3	3.7	1.6	5.9	1,971万円	26.7
2021 建築者（全国）	(1,396)	10.8	24.6	25.1	12.9	11.9	5.8	3.4	0.8	4.7	1,678万円	26.6
2020 建築者（全国）	(1,346)	8.4	24.6	26.6	14.9	11.5	4.6	4.2	1.8	3.4	1,486万円	25.6
2019 建築者（全国）	(1,344)	8.0	29.2	27.5	12.5	10.1	3.8	4.0	1.3	3.5	1,546万円	22.7
2018 建築者（全国）	(1,240)	7.9	27.4	27.0	14.3	10.6	4.2	3.2	1.0	4.3	1,569万円	23.4
2017 建築者（全国）	(1,275)	7.7	29.1	25.8	16.1	9.8	4.6	3.0	1.0	2.8	1,448万円	21.3
2016 建築者（全国）	(1,088)	8.7	25.9	26.1	13.8	11.8	3.6	3.4	1.5	5.2	1,492万円	25.6

(%)

(%)

■ 土地代 建築者（首都圏・首都圏以外／新規土地取得者）

【数値自由回答】

	n=	500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～2,500万円未満	2,500万円～3,000万円未満	3,000万円～3,500万円未満	3,500万円～4,000万円未満	4,000万円以上	平均	2,000万円以上計
2022 建築者（首都圏）	(260)	6.8	9.7	16.5	12.5	14.7	7.9	7.9	4.3	19.7	2,793万円	54.5
2021 建築者（首都圏）	(263)	3.7	7.7	12.7	15.4	18.1	10.4	12.4	3.3	16.4	3,043万円	60.5
2020 建築者（首都圏）	(247)	4.3	8.2	17.0	16.7	17.0	9.2	11.7	4.6	11.3	2,266万円	53.9
2019 建築者（首都圏）	(225)	4.3	13.4	14.6	11.9	17.0	7.1	12.6	6.3	12.6	2,382万円	55.7
2018 建築者（首都圏）	(205)	3.9	8.2	15.5	13.3	19.7	9.4	7.7	5.2	17.2	2,608万円	59.2
2017 建築者（首都圏）	(218)	2.4	8.1	17.4	19.8	13.4	13.0	8.5	4.9	12.6	2,278万円	52.2
2016 建築者（首都圏）	(210)	6.4	5.6	14.7	14.7	18.7	6.8	8.8	4.0	20.3	2,528万円	58.6

(%)

(%)

	n=	500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～2,500万円未満	2,500万円～3,000万円未満	3,000万円～3,500万円未満	3,500万円～4,000万円未満	4,000万円以上	平均	2,000万円以上計
2022 建築者（首都圏以外）	(1,045)	10.5	27.5	29.7	12.3	11.7	2.1	2.6	0.9	2.5	1,767万円	19.9
2021 建築者（首都圏以外）	(1,133)	12.5	28.5	28.0	12.4	10.5	4.7	1.4	0.2	2.0	1,361万円	18.7
2020 建築者（首都圏以外）	(1,100)	9.3	28.3	28.8	14.5	10.3	3.6	2.6	1.1	1.7	1,311万円	19.2
2019 建築者（首都圏以外）	(1,119)	8.7	32.4	30.1	12.7	8.8	3.1	2.3	0.3	1.6	1,378万円	16.1
2018 建築者（首都圏以外）	(1,034)	8.7	31.2	29.3	14.5	8.8	3.2	2.3	0.2	1.8	1,363万円	16.2
2017 建築者（首都圏以外）	(1,057)	8.8	33.4	27.5	15.4	9.1	2.9	1.9	0.3	0.8	1,277万円	14.9
2016 建築者（首都圏以外）	(878)	9.2	30.8	28.8	13.6	10.1	2.9	2.1	0.9	1.6	1,243万円	17.7

(%)

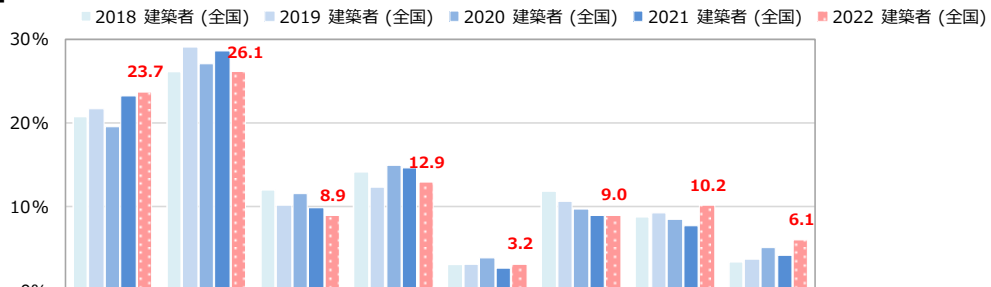
(%)

3 家づくりの頭金

- ・ 建築者（全国）の家づくりの頭金は平均714万円。前年より120万円増加。
- ・ 建築者（首都圏）の家づくりの頭金は平均999万円。前年より41万円増加。
- ・ 建築者（全国）では1,500万円以上の高額層が直近5年で最も多く、平均を押し上げた。

■ 家づくりの頭金 建築者（全国）

【数値自由回答】



n=		0円	～250万円未満	250万円～500万円未満	500万円～750万円未満	750万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～3,000万円未満	3,000万円以上	平均	500万円以上計	1,500万円以上計
2022 建築者（全国）	(1,856)	23.7	26.1	8.9	12.9	3.2	9.0	10.2	6.1	714万円	41.3	16.2
2021 建築者（全国）	(1,884)	23.3	28.6	9.8	14.7	2.7	9.0	7.7	4.3	594万円	38.3	11.9
2020 建築者（全国）	(1,884)	19.5	27.0	11.5	14.9	3.8	9.7	8.5	5.0	663万円	42.0	13.5
2019 建築者（全国）	(1,884)	21.8	29.0	10.2	12.3	3.1	10.6	9.3	3.7	617万円	39.0	13.0
2018 建築者（全国）	(1,845)	20.7	26.1	12.0	14.2	3.1	11.8	8.8	3.4	619万円	41.3	12.1

(%) (%) (%)

■ 家づくりの頭金 建築者（首都圏・首都圏以外）

【数値自由回答】

n=		0円	～250万円未満	250万円～500万円未満	500万円～750万円未満	750万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～3,000万円未満	3,000万円以上	平均	500万円以上計	1,500万円以上計
2022 建築者（首都圏）	(375)	19.4	21.3	8.9	11.4	2.2	12.9	12.4	11.4	999万円	50.4	23.8
2021 建築者（首都圏）	(350)	19.4	23.7	6.3	15.4	3.3	10.1	11.8	10.1	958万円	50.6	21.9
2020 建築者（首都圏）	(358)	16.4	24.2	11.2	15.9	4.2	11.2	9.0	7.8	854万円	48.2	16.9
2019 建築者（首都圏）	(339)	16.8	25.9	10.7	12.0	2.4	9.9	15.2	7.1	927万円	46.6	22.3
2018 建築者（首都圏）	(329)	14.7	22.8	10.5	12.1	5.1	13.7	12.9	8.3	941万円	52.0	21.2

(%) (%) (%)

n=		0円	～250万円未満	250万円～500万円未満	500万円～750万円未満	750万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～3,000万円未満	3,000万円以上	平均	500万円以上計	1,500万円以上計
2022 建築者（首都圏以外）	(1,481)	24.8	27.3	8.9	13.2	3.4	8.0	9.6	4.7	642万円	39.0	14.3
2021 建築者（首都圏以外）	(1,534)	24.1	29.7	10.6	14.5	2.6	8.8	6.8	2.9	511万円	35.5	9.7
2020 建築者（首都圏以外）	(1,526)	20.2	27.7	11.6	14.7	3.8	9.4	8.3	4.4	619万円	40.5	12.7
2019 建築者（首都圏以外）	(1,545)	22.8	29.7	10.1	12.3	3.3	10.8	8.0	3.0	549万円	37.3	11.0
2018 建築者（首都圏以外）	(1,516)	22.0	26.8	12.3	14.7	2.7	11.4	7.9	2.3	549万円	38.9	10.2

(%) (%) (%)

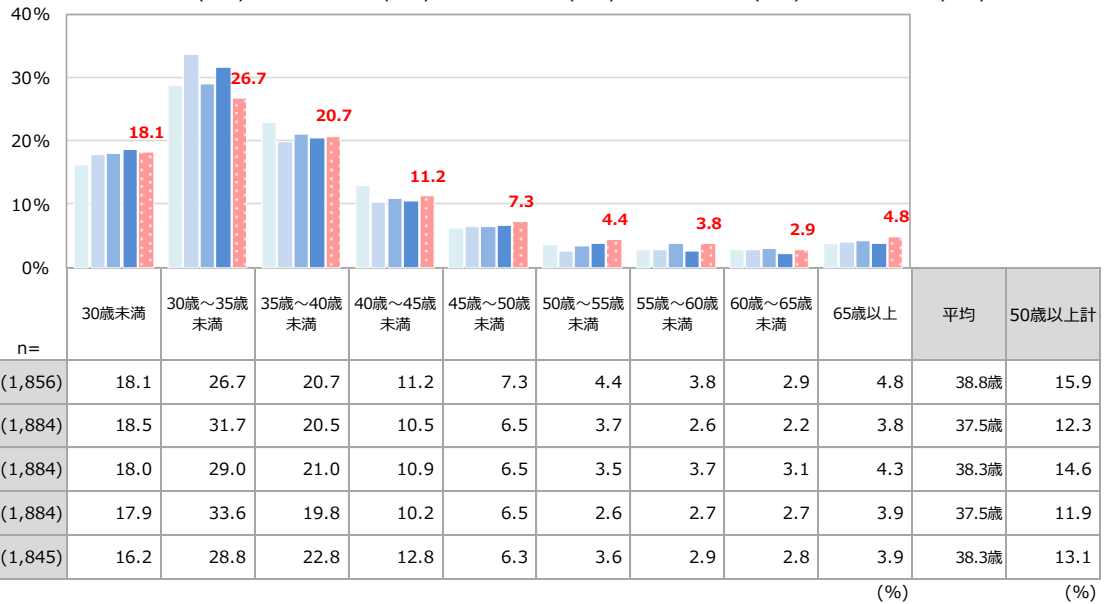
4 建築者の背景情報

- ・ 建築者（全国）の世帯主年齢は平均38.8歳。前年より1.3歳上昇。
- ・ 建築者（全国）の世帯年収は平均848万円。前年より52万円増加。

■ 世帯主の年齢 建築者（全国）

【単一回答】

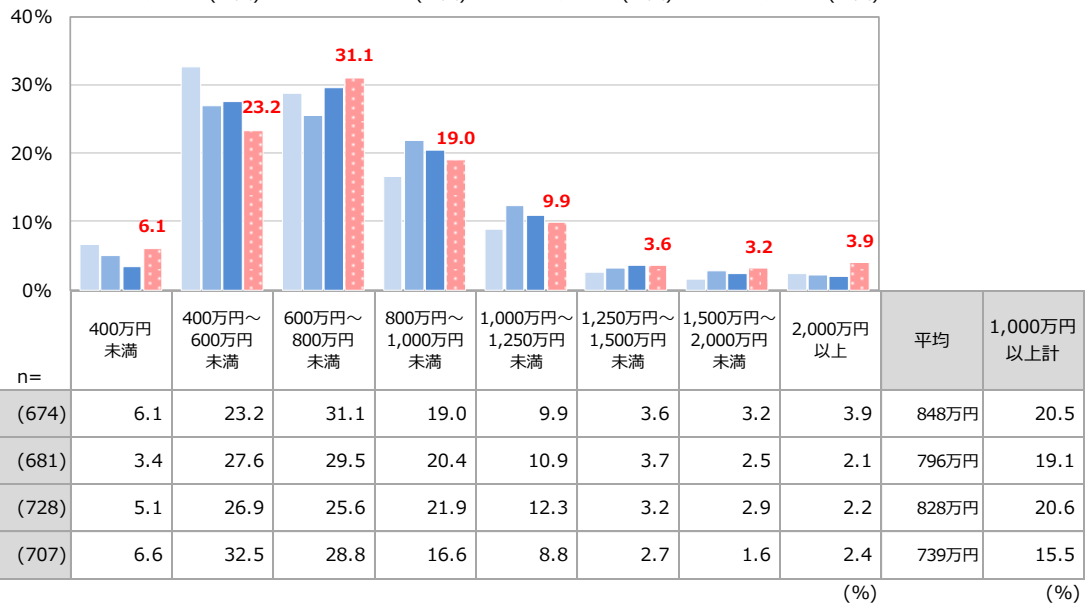
■ 2018 建築者（全国） ■ 2019 建築者（全国） ■ 2020 建築者（全国） ■ 2021 建築者（全国） ■ 2022 建築者（全国）



■ 世帯年収 建築者（全国／「わからない／答えたくない」回答者を除く）

【数値自由回答】

■ 2019 建築者（全国） ■ 2020 建築者（全国） ■ 2021 建築者（全国） ■ 2022 建築者（全国）

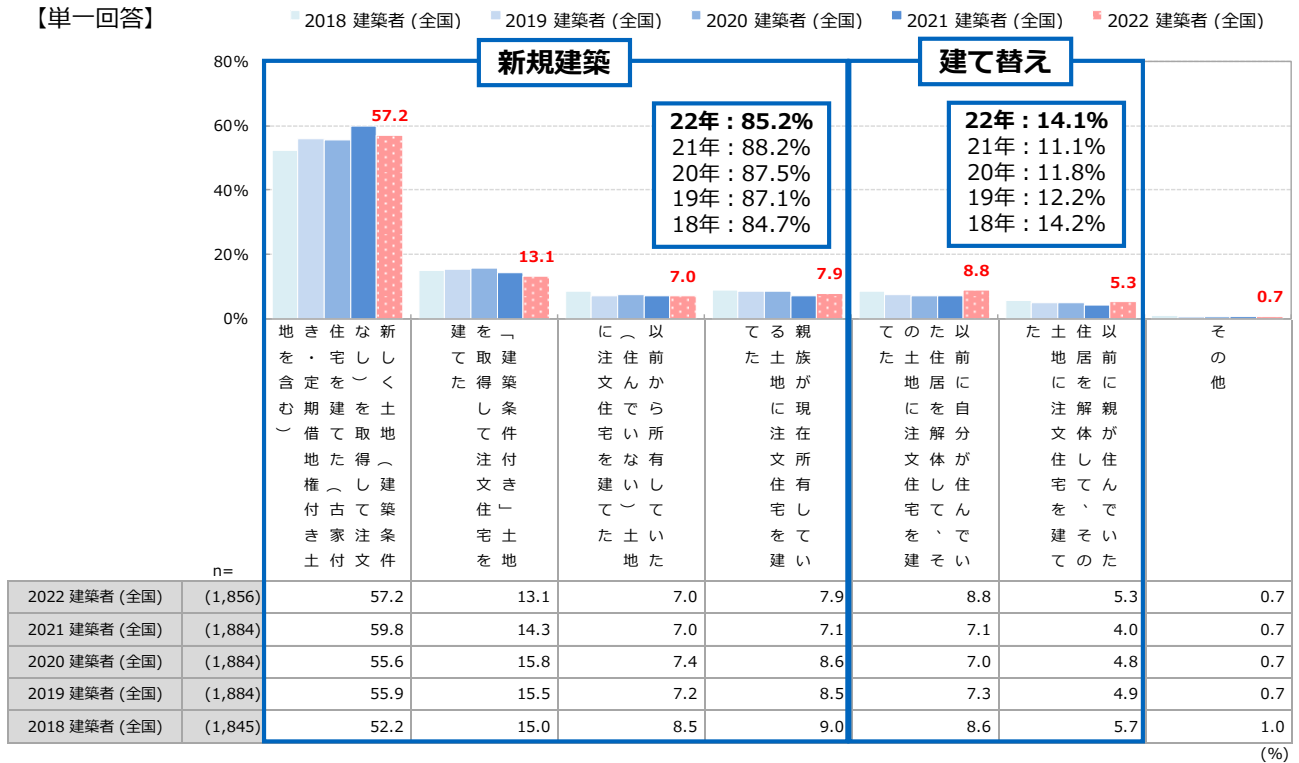


6 新規建築と建て替えについて

- ・ 建築者（全国）では『新規建築』の割合が85.2%、『建て替え』の割合が14.1%。
- ・ 建築者（首都圏）では「新しく土地を取得して注文住宅を建てた」が55.6%。前年より5.4ポイント減少。

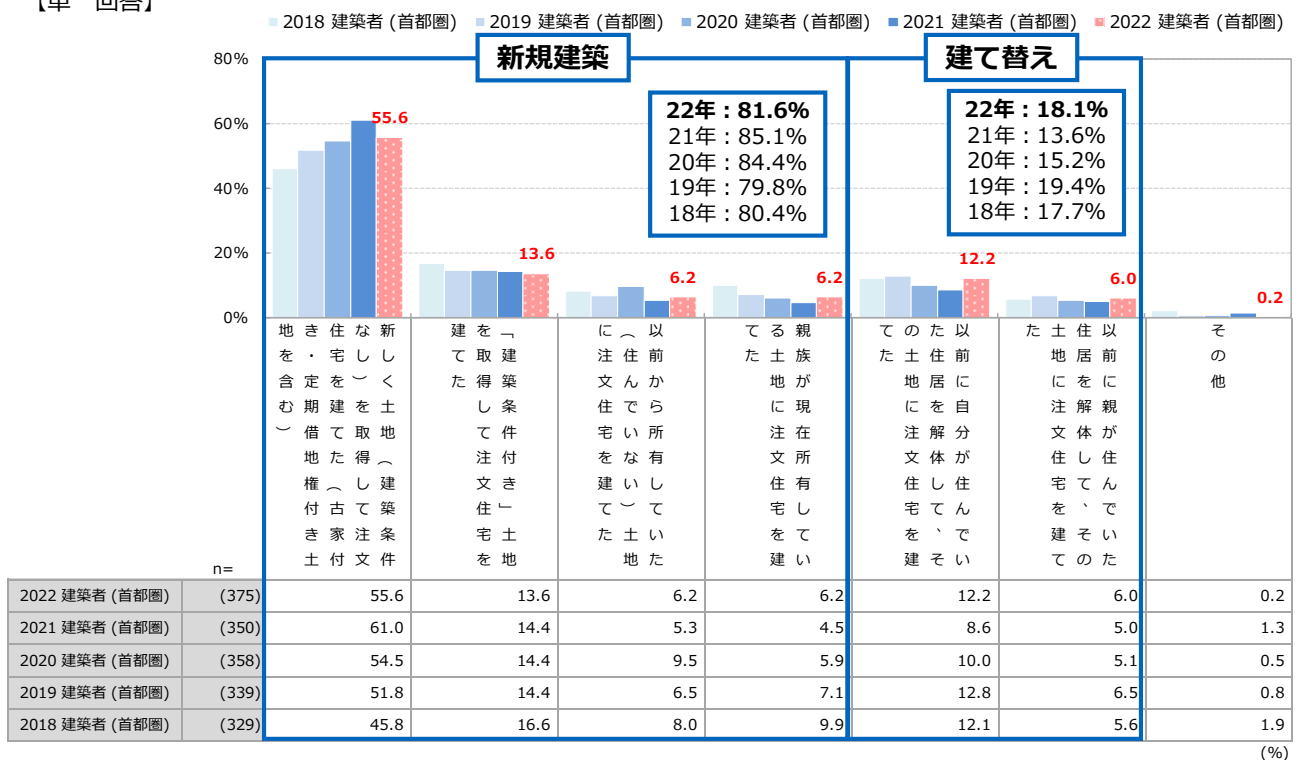
■ 新規建築と建て替え 建築者（全国）

【単一回答】



■ 新規建築と建て替え 建築者（首都圏）

【単一回答】

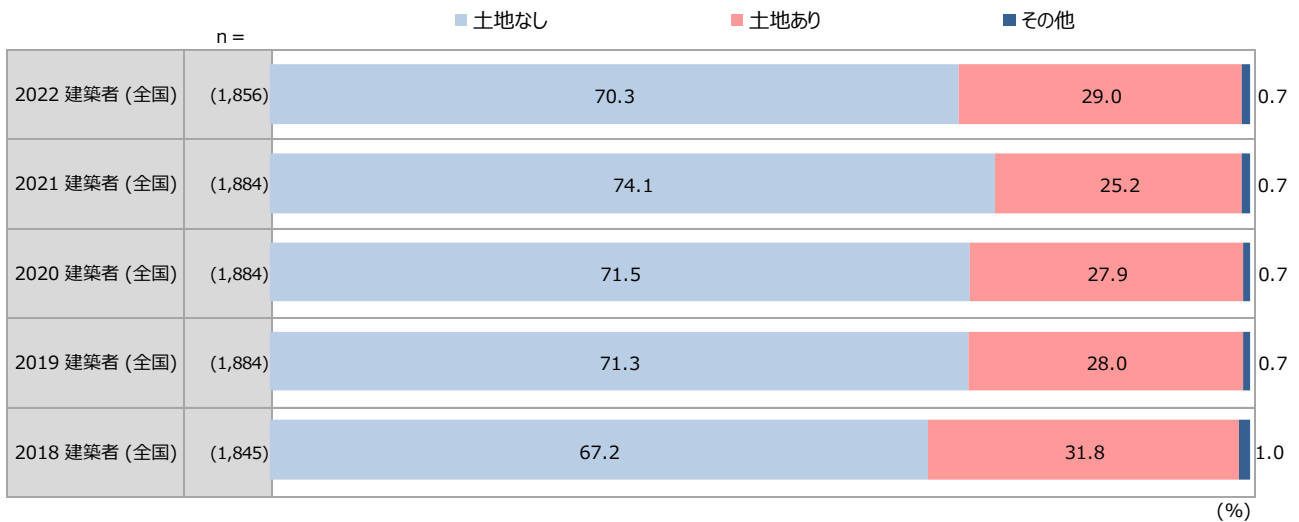


7 土地の有無

- ・ 建築者（全国）のうち、「土地あり」の割合は29.0%。前年から3.8ポイントの増加。
- ・ 建築者（首都圏）のうち、「土地あり」の割合は30.5%。前年から7.1ポイント増加。

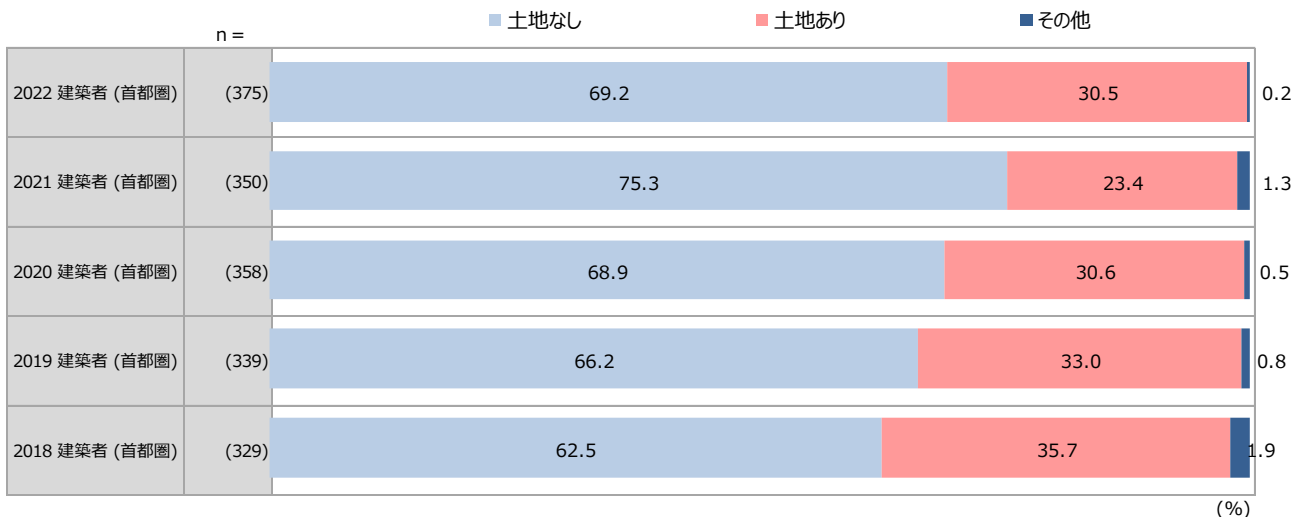
■ 注文住宅建築時の土地の有無 建築者（全国）

【単一回答】



■ 注文住宅建築時の土地の有無 建築者（首都圏）

【単一回答】



※「土地なし」（土地取得あり計）：「新しく土地（建築条件なし）を取得して注文住宅を建てた（古家付き・定期借地権付き土地を含む）」+「建築条件付き土地を取得して注文住宅を建てた」

※「土地あり」（土地取得なし計）：「以前から所有していた（住んでいない）土地に注文住宅を建てた」+「親族が現在所有している土地に注文住宅を建てた」+「以前に自分が住んでいた住居を解体して、その土地に注文住宅を建てた」+「以前に親が住んでいた住居を解体して、その土地に注文住宅を建てた」

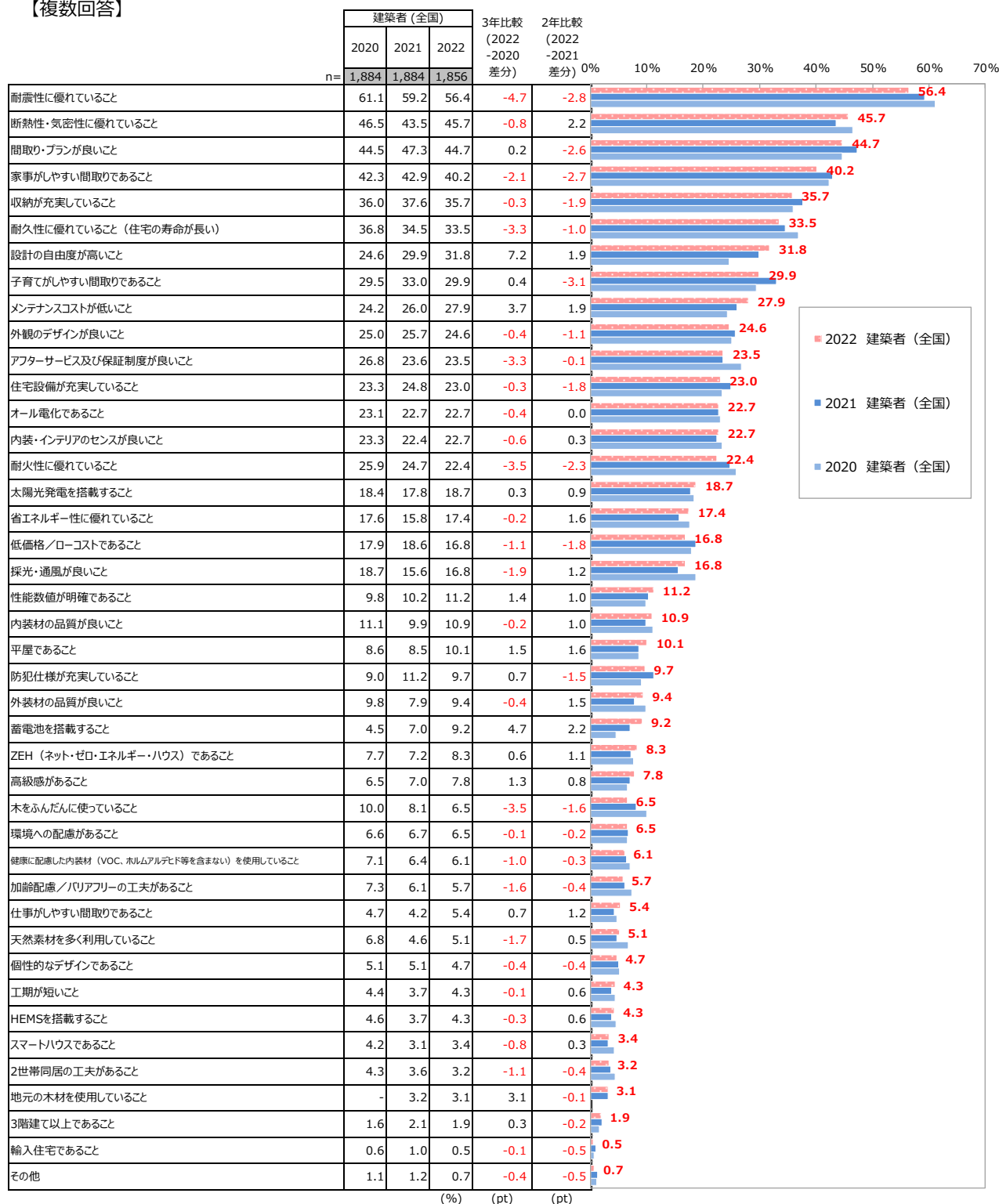
8 建築する際に重視した条件

・建築者（全国）では、直近3年間での増加が多い順に、「設計の自由度が高いこと」を重視した人が7.2ポイント、「蓄電池を搭載すること」が4.7ポイント、「メンテナンスコストが低いこと」が3.7ポイント増加。

■ 建築する際に重視した条件 建築者（全国）

※「2022 建築者（全国）」で降順ソート

【複数回答】



9 取り入れたい間取り

- ・中国・四国地方を除いたすべてのエリアで「ウォークインクローゼット」が1位。
- ・一部の例外を除き、ほとんどの間取りで取り入れたいと回答する人が減少傾向にある。特に「ウォークインクローゼット」「カウンターキッチン」は減少が大きく、全国で前年より5ポイント以上減少。

■ 取り入れたい間取り 検討者（全国・各エリア）

【5つまでの複数回答】

【全国】				【北海道・東北地方】				【北関東地方】			
順位	間取り	2022年 n=1,847	2021年 n=1,874	順位	間取り	2022年 n=192	2021年 n=187	順位	間取り	2022年 n=132	2021年 n=117
1	ウォークインクローゼット	31.9%	37.3%	1	ウォークインクローゼット	31.1%	36.0%	1	ウォークインクローゼット	38.1%	41.4%
2	パントリー*	29.5%	33.2%	2	パントリー*	30.5%	34.2%	2	パントリー*	37.1%	36.8%
3	カウンターキッチン	25.5%	30.5%	3	シューズクローク	28.2%	24.2%	3	カウンターキッチン	27.8%	34.5%
4	シューズクローク	24.9%	27.7%	4	カウンターキッチン	27.7%	30.4%	4	シューズクローク	23.7%	31.0%
5	室内干しスペース*	23.2%	26.3%	5	アイランドキッチン	27.1%	22.4%	4	アイランドキッチン	23.7%	18.4%
6	アイランドキッチン	23.0%	22.8%	6	室内干しスペース*	26.0%	24.2%	4	室内干しスペース*	23.7%	27.6%
7	ゆったり入浴できる広い浴室	17.3%	15.4%	7	ゆったり入浴できる広い浴室	19.8%	16.8%	7	畳コーナー	22.7%	13.8%
8	畳コーナー	15.5%	16.1%	8	オープンなLDK	16.9%	16.1%	8	ゆったり入浴できる広い浴室	21.6%	16.1%
9	オープンなLDK	15.3%	14.9%	9	畳コーナー	13.0%	13.7%	9	回遊動線*	18.6%	19.5%
10	回遊動線*	14.8%	14.6%	9	バリアフリー対策	13.0%	6.2%	10	オープンなLDK	16.5%	18.4%

【首都圏】				【北陸・甲信越地方】				【東海地方】			
順位	間取り	2022年 n=509	2021年 n=448	順位	間取り	2022年 n=119	2021年 n=183	順位	間取り	2022年 n=212	2021年 n=267
1	ウォークインクローゼット	25.5%	30.3%	1	ウォークインクローゼット	35.0%	40.9%	1	ウォークインクローゼット	37.1%	40.8%
2	シューズクローク	22.9%	24.7%	2	室内干しスペース*	34.0%	32.7%	2	パントリー*	34.5%	35.3%
3	カウンターキッチン	22.4%	28.1%	3	パントリー*	32.0%	37.7%	3	シューズクローク	26.1%	32.2%
4	パントリー*	21.1%	27.9%	4	アイランドキッチン	31.1%	18.9%	3	カウンターキッチン	26.1%	30.4%
5	アイランドキッチン	18.2%	22.8%	5	シューズクローク	28.2%	27.7%	5	室内干しスペース*	25.4%	28.7%
6	室内干しスペース*	17.6%	22.4%	6	カウンターキッチン	25.2%	36.5%	6	アイランドキッチン	21.2%	22.5%
7	ゆったり入浴できる広い浴室	17.2%	16.8%	7	回遊動線*	22.3%	15.7%	7	オープンなLDK	16.3%	13.5%
8	オープンなLDK	16.7%	15.6%	8	オープンなLDK	20.4%	10.1%	8	畳コーナー	15.2%	18.7%
9	階段下収納	13.9%	12.4%	9	畳コーナー	15.5%	18.9%	9	ゆったり入浴できる広い浴室	14.8%	12.5%
10	畳コーナー	12.3%	10.7%	10	ゆったり入浴できる広い浴室	12.6%	9.4%	10	回遊動線*	14.4%	15.9%

【近畿地方】				【中国・四国地方】				【九州・沖縄地方】			
順位	間取り	2022年 n=286	2021年 n=266	順位	間取り	2022年 n=185	2021年 n=172	順位	間取り	2022年 n=212	2021年 n=234
1	ウォークインクローゼット	31.3%	34.3%	1	パントリー*	34.6%	38.0%	1	ウォークインクローゼット	38.2%	43.5%
2	パントリー*	29.1%	31.7%	2	ウォークインクローゼット	31.4%	41.1%	2	パントリー*	33.8%	32.8%
3	アイランドキッチン	27.2%	25.4%	3	室内干しスペース*	25.1%	27.8%	3	カウンターキッチン	31.2%	28.0%
4	カウンターキッチン	25.2%	29.0%	4	カウンターキッチン	23.6%	33.5%	4	シューズクローク	30.6%	27.4%
5	室内干しスペース*	23.3%	23.8%	5	アイランドキッチン	22.5%	24.7%	5	室内干しスペース*	23.6%	28.5%
6	シューズクローク	22.0%	29.0%	6	シューズクローク	22.0%	28.5%	6	アイランドキッチン	22.3%	24.2%
7	ゆったり入浴できる広い浴室	19.8%	19.5%	6	畳コーナー	22.0%	20.3%	7	ゆったり入浴できる広い浴室	19.7%	14.0%
8	オープンなLDK	17.3%	15.8%	8	回遊動線*	16.8%	16.5%	8	回遊動線*	17.8%	17.2%
9	畳コーナー	15.0%	18.5%	9	ゆったり入浴できる広い浴室	11.0%	16.5%	9	畳コーナー	16.6%	18.3%
10	回遊動線*	13.4%	13.9%	9	高い天井高	11.0%	8.9%	10	バリアフリー対策	12.1%	9.7%
				9	階段下収納	11.0%	11.4%				

※取り入れたい間取りについて、29項目+その他で尋ね、各エリアごとに2022年のスコアの高い順に10位まで掲載

*…調査票では以下のような（ ）付きで提示

パントリー：パントリー（キッチン付近に設置された大容量の収納）

室内干しスペース：室内干しスペース（洗濯など）

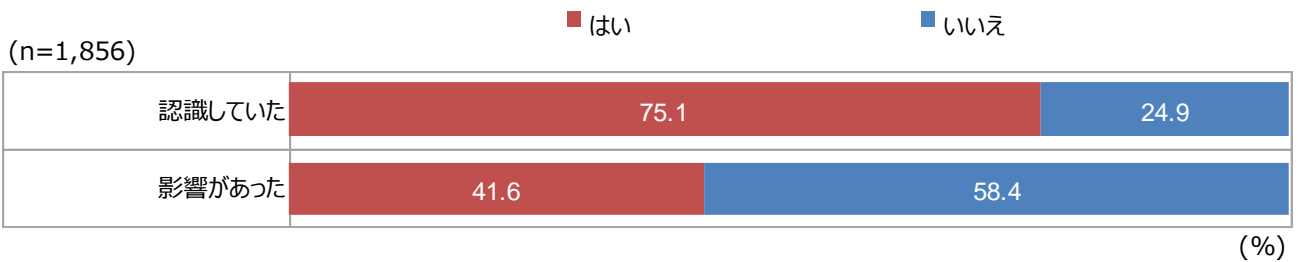
回遊動線：回遊動線（玄関/キッチン/洗面室回遊・キッチン/バス回遊などの間取り）

・ 建築者（全国）のうち、建築費高騰を認識していたのは75.1%、建築費高騰の影響があったのは41.6%。

・ 検討者（全国）のうち89.7%は建築費高騰を認識している。今後については、認識者のうち62.3%が「現在より上がっていく」、26.6%が「現在の水準が続く」と回答し、合わせて約9割が建築費は今後もさらに上がるか高騰したまま推移すると予想している。

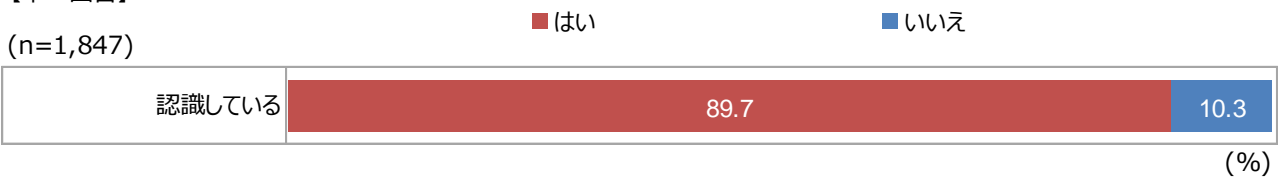
■ 建築費高騰（資材不足・円安・燃料費の影響等による）の認識・影響の有無 建築者（全国）

【各・単一回答】



■ 建築費高騰（資材不足・円安・燃料費の影響等による）の認識の有無 検討者（全国）

【単一回答】

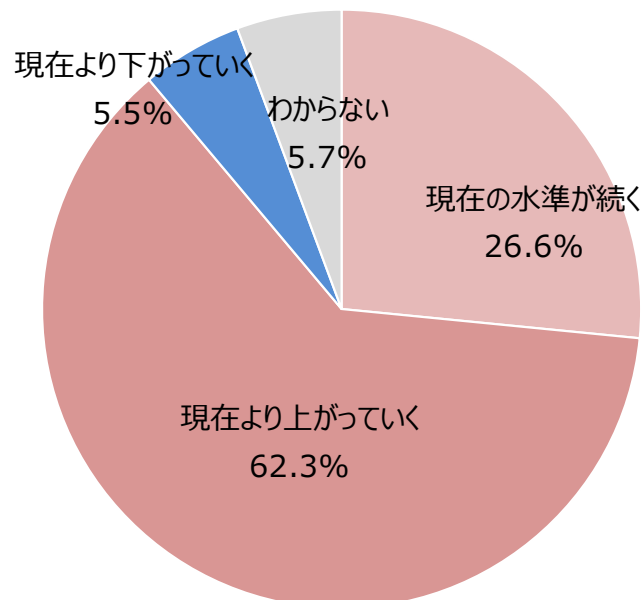


■ 建築費高騰の今後の予想 検討者（全国／建築費高騰の認識あり回答者）

【単一回答】

「建築費の高騰について認識している方にお伺いします。現在の建築費高騰は今後どうなると予想していますか。」

(n=1,658)

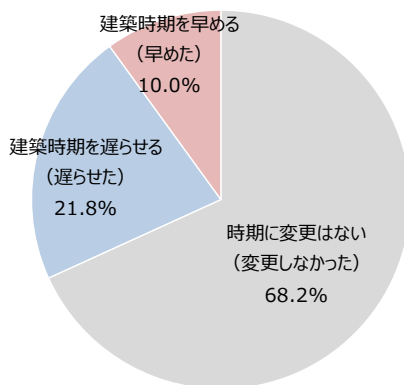


- ・ 検討者（全国／建築費高騰の認識あり回答者）のうち68.2%は、建築費高騰による建築時期への影響について「時期に変更はない（変更しなかった）」と回答。
- ・ 建築費高騰で予算をオーバーした場合、「予算を増やす」が39.4%、「土地費用を抑える」が27.4%、「建築費を抑える」が10.2%、「両方抑える」が21.3%。
- ・ 土地費用の抑え方は、「土地面積を狭くする」「坪単価が低いエリアを選ぶ」がともに5割程度。
- ・ 建築費用の抑え方は、「設備・仕様を安くすむものにする」が62.0%、「延床面積を抑える」が47.0%。

■ 建築費高騰による建築時期への影響の有無 検討者（全国／建築費高騰の認識あり回答者）

【単一回答】

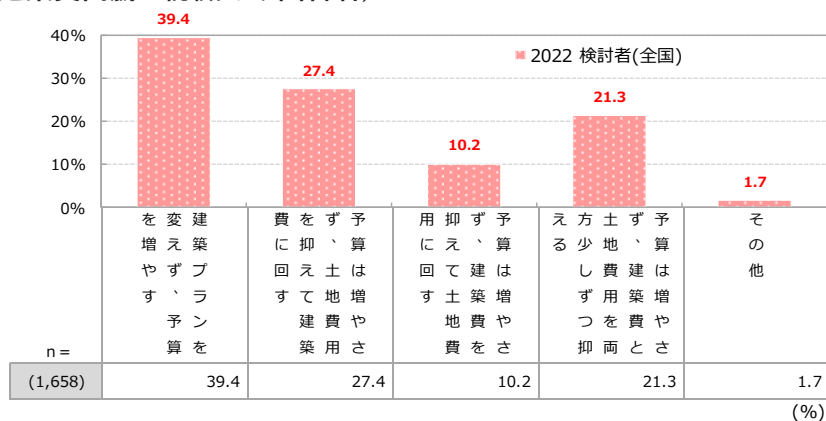
(n=1,658)



■ 建築費高騰で予算をオーバーした場合の予算・建築プラン変更の有無

検討者（全国／建築費高騰の認識あり回答者）

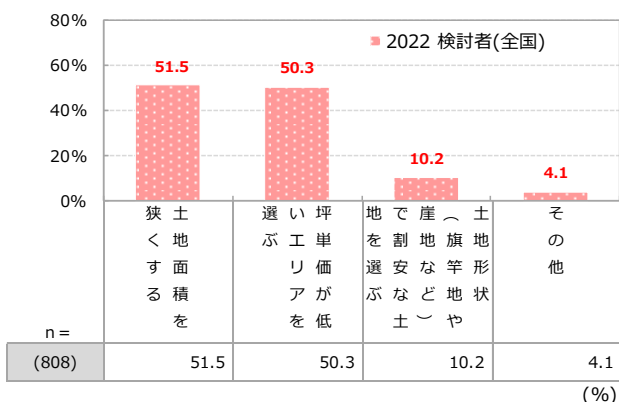
【単一回答】



■ 土地費用の抑え方

検討者（全国／土地費用を抑える回答者）

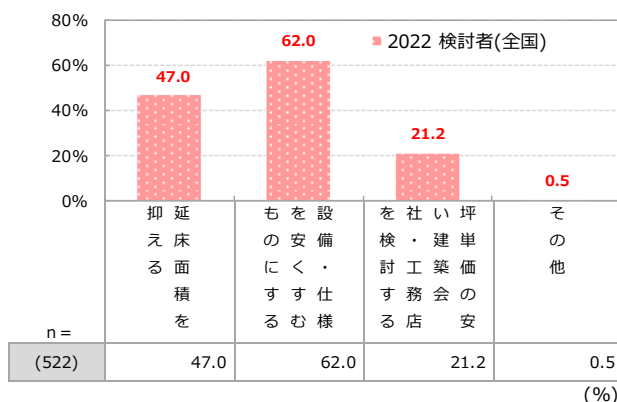
【複数回答】



■ 建築費用の抑え方

検討者（全国／建築費用を抑える回答者）

【複数回答】



- ・ 建築者（全国）のZEH認知率は77.4%。前年より4.5ポイント増加。
- ・ ZEH認知者のうち、ZEHを導入した人は25.3%。前年からほぼスコアは変化なし。
- ・ ZEH導入による光熱費等の経済的メリットは、平均で8,562円/月。

■ ZEH認知状況 建築者（全国）

※認知計：「内容まで知っている」+「名前だけは知っている」

【単一回答】

	n =	■ 内容まで知っている	■ 名前だけは知っている	■ 名前も知らない	認知計
2022 建築者（全国）	(1,856)	28.6	48.8	22.6	77.4
2021 建築者（全国）	(1,884)	26.8	46.1	27.1	72.9
2020 建築者（全国）	(1,884)	24.6	48.4	26.9	73.1
2019 建築者（全国）	(1,884)	24.5	45.9	29.6	70.4
2018 建築者（全国）	(1,845)	25.3	43.9	30.8	69.2

(%)

■ ZEH認知者における導入検討状況 建築者（全国／ZEH認知者）

※導入検討計：「導入した」+「検討したがやめた」

【単一回答】

	n =	■ 導入した	■ 検討したがやめた	■ 全く検討していない	導入検討計
2022 建築者（全国）	(1,436)	25.3	32.2	42.4	57.6
2021 建築者（全国）	(1,373)	26.2	32.4	41.5	58.5
2020 建築者（全国）	(1,377)	21.8	35.1	43.1	56.9
2019 建築者（全国）	(1,326)	20.6	36.6	42.8	57.2
2018 建築者（全国）	(1,276)	17.6	37.3	45.1	54.9

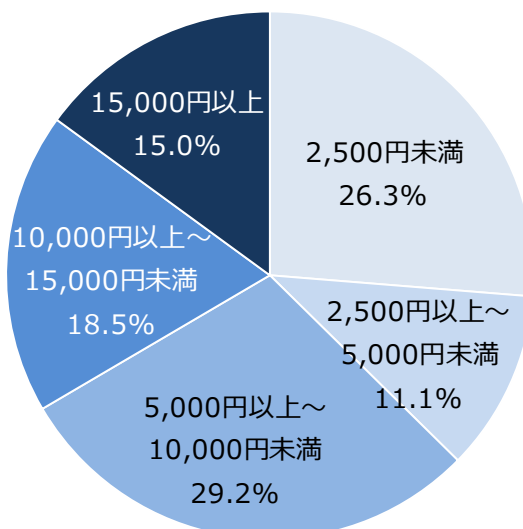
(%)

■ ZEH導入による光熱費等の経済的メリット

建築者（全国／ZEH導入者／0円回答者を除く）

【数値自由回答】

(n=317)



平均
8,562円/月

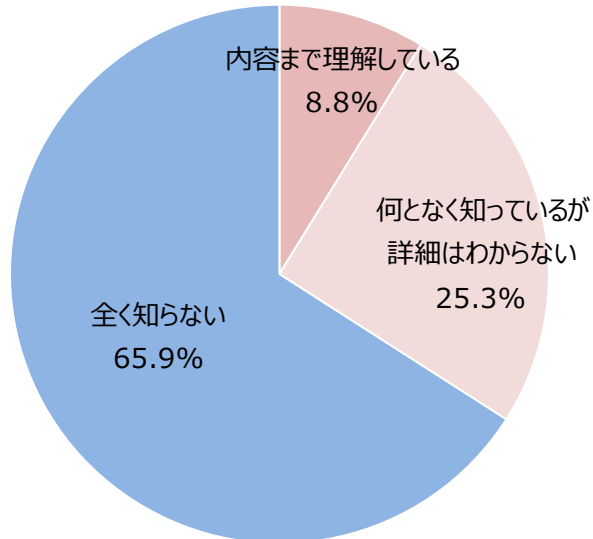
・2030年度ZEH基準義務化の認知率は、建築者（全国）で34.1%、検討者（全国）で50.2%。

■ 2030年度ZEH基準義務化の認知状況 建築者（全国）

【単一回答】

(n=1,856)

※認知計：「内容まで理解している」
+「何となく知っているが詳細はわからない」



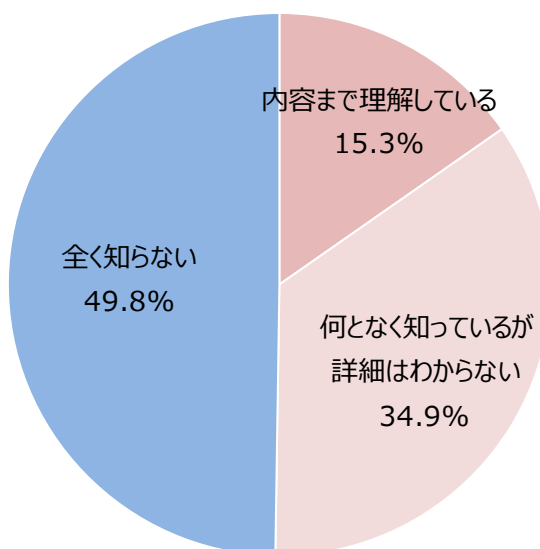
認知計
34.1%

■ 2030年度ZEH基準義務化の認知状況 検討者（全国）

【単一回答】

(n=1,847)

※認知計：「内容まで理解している」
+「何となく知っているが詳細はわからない」



認知計
50.2%

リクルートが企画・運営するSUUMOブランドの情報誌メディアのご紹介です。

SUUMOチャンネル (YouTube)

住宅購入を考えている方必見、
家づくりのノウハウを動画で紹介



HOUSING

大手住宅メーカーの情報が満載。
はじめての家づくりを応援します



SUUMO注文住宅

地元の住宅メーカー・工務店の
最新情報をお届けします



SUUMO注文住宅 東京で建てる
SUUMO注文住宅 千葉で建てる
SUUMO注文住宅 神奈川で建てる
SUUMO注文住宅 埼玉で建てる
SUUMO注文住宅 茨城で建てる
SUUMO注文住宅 群馬で建てる
SUUMO注文住宅 栃木で建てる
SUUMO注文住宅 大阪で建てる
SUUMO注文住宅 京都・滋賀で建てる
SUUMO注文住宅 兵庫で建てる
SUUMO注文住宅 東海で建てる
SUUMO注文住宅 北海道で建てる
SUUMO注文住宅 みやぎで建てる
SUUMO注文住宅 広島で建てる
SUUMO注文住宅 福岡・佐賀で建てる

SUUMO注文住宅 (フリーペーパー)

家づくりのアイデアやノウハウ、
スーモカウンターの無料講座などを紹介



北海道で家を建てる
東京で家を建てる
埼玉で家を建てる
千葉で家を建てる
神奈川で家を建てる
東海で家を建てる
大阪で家を建てる
兵庫で家を建てる
福岡で家を建てる